

事業名	成人教育講座「生活を楽しむ 竹細工の魅力」						
ジャンル	家庭教育	・	青少年教育	・	成人教育	・	団体育成
日程	令和3年12月19日(日)	講師	佐倉竹芸保存会	参加費	500円(材料費)		
対象者	一般	参加者数(延べ)	31人(審議委員等を含む)	募集方法	チラシ・広報・ホームページ		
趣旨	新型コロナ禍により自宅内で生活する時間が増大する中で、伝統技法の研究・創作活動に取り組む「佐倉竹芸保存会」を講師として招き、竹芸の魅力を語っていただき、その作品を鑑賞するとともに、実際に会のメンバーの指導で工作体験を行うことにより、身近な素材を用いた物づくりの楽しさを学び、伝統文化への関心を高め、自らの生活を豊かにする新しいライフスタイルを考える場とする。						
内容	「佐倉竹芸保存会」についてのお話と、パワーポイントを使った「竹」の特性に関する講義、グループ分けをして「握り籠づくり」の工作体験を行う。なお、会場内に保存会メンバーの作品を展示し、伝統技法のすばらしさを鑑賞する。						
工夫	身近にある素材を用いた、物づくりの楽しさを体感する講座とする。伝統技法に対する理解や関心を高め、後継者の育成に結び付ける。竹細工を通じて、自然の良さ・大切さを感じる場とする。						
成果	募集開始数日にして、定員の30人に達したことから、市民の関心が高かった講座であるといえる。実際の参加者に行ったアンケート調査の結果においても、満足及びやや満足は87パーセントと高い満足度を示している。竹細工や伝統工芸に関心を持ったとする回答が93パーセント、物づくりをしてみようと思った人も90パーセントを占めており、参加者の意識に変化がみられ、それぞれの今後の活動が期待される。						
課題	工作体験として「握り籠づくり」を行ったが、5~6人のグループに1人の指導者の配置では手が行き届かない場面がみられ、指導者の配置を2人とすべきであったと思われる。						

【公民館による事業評価】

項目	評価	視点
必要性	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>公民館が行う必要があるか。</li> <li>市民や利用者のニーズに合っているか。</li> <li>目的や役割が薄れていないか。</li> <li>事業の休止・廃止した場合の影響は大きいかな。</li> </ul>
優先性	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の優先度は高いか。</li> </ul>
公平性	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>対象者に情報は流れているか。</li> <li>受益者負担はあるか(実費・教材費)</li> </ul>
有効性	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>期待通りの成果が得られているか。</li> <li>さらに成果を高めるためにやり方の見直しは必要か。</li> <li>市民の満足度は高いか。</li> </ul>
効率性	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の効率性はどうか。</li> <li>事業運営に学習者が参画しているか。</li> <li>他事業との統合は考えられるか。</li> </ul>
総合評価	A	<p>A：適切で成果が得られている。 B：課題あり、成果はある程度ある。</p> <p>C：課題あり、成果があまりない。 D：成果が得られていない。</p>
特記	講座終了後、佐倉竹芸保存会の活動に対して連携・支援していきたいと申し出る参加者が現れた。	

《凡例》 良い ← A B C D → 良くない	《判定例》 <table border="0"> <tr> <td>A } A</td> <td>A } A</td> <td>A } B</td> <td>A } A</td> <td>A } A or B</td> </tr> <tr> <td>A } A</td> <td>B } A</td> <td>B } B</td> <td>A } A</td> <td>B } B</td> </tr> <tr> <td>A } A</td> <td>A } A</td> <td>B } B</td> <td>A } A</td> <td>B } B</td> </tr> </table>	A } A	A } A	A } B	A } A	A } A or B	A } A	B } A	B } B	A } A	B } B	A } A	A } A	B } B	A } A	B } B
A } A	A } A	A } B	A } A	A } A or B												
A } A	B } A	B } B	A } A	B } B												
A } A	A } A	B } B	A } A	B } B												

次年度展望	②	①：事業拡大 ④：目的達成により終了	②：現状規模で継続 ⑤：統合・改善・その他	③：事業縮小
-------	---	-----------------------	--------------------------	--------

## ☆公民館運営審議委員付帯意見

(A：適切で成果あり B：成果はあるが、改善の余地あり C：要改善)

委員①		(特になし)
総合評価	A	
委員②		いかに生活を楽しむのかに焦点を当てた企画で「握り籠づくり」は市民に好評を得ることができました。1回でしたが、竹についての学習と自作の籠を制作でき、満足度も高かったと思います。参加者が作成方法を身につけるためには、複数回の実施も良いかもしれません。 また、佐倉竹芸保存会の活動に対して連携・支援を申し出た方がいらっしまったことは、保存会の方々にとっても有益であった良い企画と感じました。
総合評価	A	
委員③		後継者問題を含め、先細り感のある伝統的工芸について実際の創作活動を取り入れてその魅力に触れる機会を設けたことは、大いに価値があると考えます。 参加者の評価が高かったことから、有意義な事業であったと思います。 次年度展望 ①
総合評価	A	
委員④		すてきな竹細工の魅力に、心をうばわれました。 伝統工芸品の大切さ等も含めた、伝承を是非継続して行って下さい。
総合評価	A	
委員⑤		専門性があり参加者が限られてしまうという課題はあるが、「体験型」という点は高評価ができる。伝統技法が受け継がれてゆくことは重要であり個々が楽しむ事ができる。
総合評価	A	
委員⑥		身近な素材を用いた物づくりの楽しさを学び、伝統文化を愛し生活を豊かにするきっかけ作りの場となり、市民の関心が高かった講座だと思えます。 今回は「竹」を素材にした伝統工芸に触れ工作体験ができ、参加者の満足度が高く、保存会のメンバーの方もやりがいを感じられ大変良かったと思えます。
総合評価	A	
委員⑦		昭和の時代を竹芸一筋に生き抜いた日展作家 中台一司さんが礎を築いた保存会がしっかりと継承されていることをまず喜びたいと思います。公民館事業との関わりを通じ、さらに後継者の発掘につながればと願います。 別の視点から竹芸保存会発展への期待があります。市内各地に竹林が手入れもできず繁茂し、景観的にも課題となっています。作品づくりのためのみならず、保全を目的とした自然との対話が深まるとうれしく思います。
総合評価	A	
委員⑧		身近な竹の材料を用いた物づくりは、昔からの伝統技法による工芸品づくりであり、関心の高い講座である。参加者からのアンケート結果でも87%と高い満足度をしめしており、引き続き今後の活動に期待します。
総合評価	A	

委員⑨		コロナ禍にあっても「生活を楽しむ」ことは大切であり、竹細工体験はよい企画だと思います。令和4年度も工夫を重ねて実施されたい。
総合評価	A	

委員⑩		事業に参加し「握り籠づくり」を体験した。事前に完成品を拝見したときには、簡単に作れると思っていたが、実際は初心者には難しい工作だということを実感した。しかし、考えながら手指を動かし「ひご」を編んで行く作業は、認知症などが心配な中高年者にとっては良い刺激になる事業と思います。また、保存会の「竹の特性」の説明は、初めて知ることばかりで良い勉強になった。講座募集後の数日で定員をオーバーし、参加者は60歳代以上が65.6%、女性が62.5%と、中高年者や女性に人気の講座故、今後も竹細工制作体験の講座を継続してください。
総合評価	A	

委員⑪		新型コロナウイルスに良く工夫され事業展開をされております。内容に特に所見を述べることはございません。  このような事業は継続こそが重要となると思うので、講師との連携をつなげて行くことが望しいと思います。
総合評価	A	

委員⑫		日本の竹細工は、日本人の器用さと竹の品質から世界でも評価が高いと聞いていましたが、その体験が身近でできる講座はたいへん有意義だと感じます。できれば、自宅での宿題を含め、もう一日工作体験の日があれば、参加者にとって今後も続けていきたい身近なものになっていたかもしれません。
総合評価	A	

委員⑬		参加者の多くが楽しく取り組んでいる様子がわかりました。また、指導者がより近く感じられて参加者自身のモチベーションにつながっているように思います。用意された「皮ひき」をもっと多くの方に体験してほしいですね。次年度も予定されている佐倉竹芸の伝統技法の伝承に期待します。
総合評価	A	

委員⑭		身近な素材の竹を利用した物づくりは、大人が夢中になってしまう楽しい講座でした。竹を編む作業はこんがらかってしまうことも多く、やり直しをしていると作業時間が短いと感じました。会場には会員の皆さんの作品を拝見するコーナーも設けられており、手の込んだ編み方に接する機会も得られました。様々なサークルがありますが、参加するには敷居が高いと感じることがあります。このような体験講座なら気軽に参加して、興味を持てるものを発見出来るかもしれません。
総合評価	A	

委員⑮		<ul style="list-style-type: none"> <li>竹細工の魅力や、体験を通して知ってもらおうという取り組みが、参加者の感想から成果があったと言えるでしょう。</li> <li>この活動の様子が、佐倉市広報番組ウィークリーさくらで放送されたものを見ました。具体的な内容だったので、詳細を知ることができました。握りかごは魅力的です。</li> <li>この事業に貢献して下さった佐倉竹芸保存会の存在は、今後も大切なものとなることでしょう。公民館事業においてこうした指導者となる方々の活動を、日常的に支援することが期待されます。</li> </ul>
総合評価	A	